

マモリンレポート

特殊詐欺から県民を守るための『絆』宣言

令和4年度ひょうご地域安全まちづくり推進協議会総会



犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現することを目的として、事業者団体など112団体で構成された「ひょうご地域安全まちづくり推進協議会」の令和4年度総会（6月28日開催）において「特殊詐欺から県民を守るための『絆』宣言」が採択されました。
一人ひとりが日常生活や事業活動を通じて、ATMコーナーで携帯電話を利用している人への声掛けや高齢者宅の電話機の防犯対策を行うなど、「家族の絆」「地域の絆」の力を発揮し、特殊詐欺の被害を防止しましょう。

特殊詐欺から県民を守るための『絆』宣言

特殊詐欺は、人の財産を奪うだけでなく人の心を深く傷つける許しがたい犯罪です。これ以上、一人暮らしの高齢者などが特殊詐欺の被害にあうことを見逃すことはできません。

今こそ「家族の絆」「地域の絆」の力を発揮するときです。

特殊詐欺の巧妙な手口をすべての人に知ってもらうこと、犯人からの電話に出ないようにするための電話対策、犯人に誘導されてATMを操作する人や電子マネーを購入しようとする人への声掛けなどが被害を防ぎます。

私たちは、一人ひとりが日常の活動の中でこうした取組を積極的に行うことで、特殊詐欺から県民を守る活動を推進することを宣言します。

令和4年6月28日
ひょうご地域安全まちづくり推進協議会

特殊詐欺被害防止対策の『2本柱』

家族の絆

でんでんむし運動

犯人からの電話に出ないために固定電話機に防犯対策をとりましょう

地域の絆

ストップ!ATMでの携帯電話運動

携帯電話で通話しながらATMを操作する高齢者などへ声を掛けましょう

特殊詐欺の被害防止



人と人、人と地域の絆を一層強め、地域ぐるみで特殊詐欺の被害を防止しましょう！

地域交流で防犯活動

高尾台・水野町地区まちづくり協議会（神戸市須磨区）



地域で守る神野っこ

神野っこ見守り隊（宍粟市）



発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県県民生活部生活安全課内

電話 (078) 362-3173 FAX (078) 362-4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

（このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。）



マモリン



地域交流で防犯活動

～高尾台・水野町地区まちづくり協議会～

地域で子どもを見守る

小学校の登校時間帯は、小学校付近や主要交差点等において子どもの見守り活動を行っています。地区を散歩する様々な犬種約50匹の犬とその飼い主に「高尾台・水野町防犯ワンちゃんパトロール隊」を委嘱し、散歩を通じた「わんわんパトロール」のほか、自宅門灯や玄関灯を朝まで点灯することで地域全体を明るくし、犯罪が発生しにくい環境をつくる「門灯運動」、公園の清掃や花壇整備活動等を通じた「ながら防犯」を積極的に行っています。

また、地区の玄関口となるバス停や人目が少ない百段階段等に防犯カメラを設置し、犯罪が起きにくく、住民が安心できる環境づくりに努めています。



様々なイベントを地域で楽しむ

地区の子どもたちが参加する夏のキャンプでは、キャンプファイヤーや炊き出しを行ったり、ハロウィンの仮装をした子どもたちがお菓子をもらいに住民宅を訪れたり、ハロウィンのお礼にクリスマスカードを渡したり、子どもと大人と一緒に楽しめるイベントが盛りだくさんです。

日頃の防犯活動も含めて、大人たちも楽しむことを忘れずに、若い世帯や子ども、高齢者との関わりを大切にしています。その関わりにより、地区の情報がリアルタイムで多く集まるため、地域の活性化につなげています。

桜や銀杏の木のライトアップ、協議会のホームページやブログを運営し、安全で安心な高尾台・水野町のアピール活動にも力を入れています。



グループの紹介

平成20年10月、安心して安全な住みよい未来あるまちづくりを推進することを目的として発足しました。

小学校の登校時間帯等の見守り活動やわんわんパトロールをこれまで継続的に行っており、このような活動が評価され、「令和3年度まちづくり活動賞」を受賞しました。



地域で守る神野っこ

～神野っこ見守り隊～

地域でつなく子どもの安全

地域の高齢化が進み、登下校時の見守り活動継続が難しい現状のなか、15年以上にわたって見守り活動に取り組んでいます。通学路の大半が国道29号という主要幹線道路で交通量が多い一方、校区中心から離れるにつれて民家は少なくなり、防犯上危険な箇所が多い地域です。そのため、数キロある通学路を見守り隊が地区ごとにリレー方式でつなぎ、狭い歩道や主要な交差点、車の通行に注意しながら、子どもたちの安全をみんなで見守っています。見守り隊が見守るなか、子どもたちも道に広がることなく、上級生の後ろを下級生が続いて歩き、子どもたちの防犯意識も高いです。

また、登下校中に子どもが転倒しケガをした時や何かトラブルがあった時には、すぐに学校へ連絡しており、先生方とも合同で見守り活動を行っています。



情報発信して情報共有

蜂の巣や路上落下物等の危険箇所を見つけた時は、関係機関に連絡して巣の除去や落下物の撤去等を行い、不審者や危険物を発見した時には警察に通報するとともに、地域コミュニティ放送を活用して情報を発信し、注意喚起を行っています。

また、交通安全期間中は他団体と協働して見守り活動を強化したり、小学校PTAとの連絡協議会開催、市教育委員会と合同で通学路点検をするなど、子どもたちが安心して暮らせるよう他団体との情報共有も大切にしています。



グループの紹介

地域の高齢化が進むなか、地域が連携して子どもの安全を見守っています。学校やPTAとの連携も強く、地域に広く認知されている団体です。このような活動が評価され、「令和3年度まちづくり活動賞」を受賞しました。

